

全国保育実践交流会ニュース(3月号)北海道地区

2023. 4月発行

○余市川への鮭の遡上見学(上町・風の子) 10月12日(水)○



秋になると北海道の川には鮭が遡上してきます。今年も3園で余市川に交流も交えて鮭の遡上見学に行くことを計画しましたが、コロナ感染でかもめ保育園が急遽参加できなくなり、上町と風の子の子どもたちだけで「はじめまして」の挨拶を交わしこの日の交流が始まりました。余市川には、たくさんの鮭の群れが遡上してくるのをすぐそばで見ることができ、川と直結している水路に泳いでくる鮭を子どもたちはつかもうと手を伸ばしますが、鮭の泳ぐ速さには敵わずです。



その後、鮭捕獲場まで移動するとそこには、たくさんの鮭たちが今にも柵を飛び越えてきそうな勢いに圧倒される子どもたちです。捕獲場のお兄さんが鮭を数匹子どもたちの前にあげてくれると力いっぱい動く鮭におっかなびっくりですが、「捕まえていいよ」の言葉に次々と勇気を出して鮭の尾びれ掴みに奮闘しました。

日頃、食している鮭やイクラが自然の中で命あるものとして、その大きさや色や形、手に感じた感触を仲間と一緒に「すごいねー」と感動体験が出来た時間でした。

(上町保育園)



○赤井川村山口牧場(かもめ・上町) 2園合同合宿○



牛の乳しぼり

2023年1月16日17日 かもめ保育園で合宿を行いました。16日は、赤井川村の山口牧場での乳しぼり体験。17日は、リズムとこま回しをしました。

16日、赤井川村の山口牧場で、絞り方を牧場の方から説明を受け、乳しぼりの体験をしました。

蹴られないように、注意していましたが、おとなしい牛で、子どもたちが順番にお乳に触って絞らせてくれて、感謝でした。命のあたたかさにふれることができたこと、また、新しいことに、挑戦できた満足感が子どもたちの中に広がりました。

その後、近代化された牧場の中を見せていただいて牛とふれあい、お昼には、炭をおこし、焼肉を皆で食べました。鹿肉もあり美味しくいただきました。お肉を食べた後は、ペットボトルに入れた生乳を振ってバター作りをしましたが、生乳の温度の関係で、固まらず、その代わりに、牛乳豆腐をいただけてきました。

牛乳豆腐は、豆腐の食感と上品なチーズの味わいがとても美味しかったです。お昼を食べ、バター作りをして、裏にある山で米袋で作ったソリで山滑りを楽しんで、かもめ保育園でお泊りをしました。夕食は、塩ちゃんこ鍋をかもめ保育園の保護者の方が作ってくださりいただきました。皆でひとつのなべを囲んで、笑顔が広がり、ぐっと仲間の意識が高まりました。朝ご飯も保護者の方が焼いてくれたパンとスープをいただきました。かもめ保育園の保護者の方たちには、感謝の気持ちでいっぱいです。ジャムも手作りで、みな、口



牧場の中にはたくさんの牛!!

め保育園の保護者の方が作ってくださりいただきました。皆でひとつのなべを囲んで、笑顔が広がり、ぐっと仲間の意識が高まりました。朝ご飯も保護者の方が焼いてくれたパンとスープをいただきました。かもめ保育園の保護者の方たちには、感謝の気持ちでいっぱいです。ジャムも手作りで、みな、口





をジャムだらけにして食べました。午前中、リズムのあと、帰る直前に、風の子の子どもたちが苦手だったこまをかもめの子もたちや大人と一緒にやってみると、なんと30分で、ほとんどの子が回るようになったのです。大人が辛抱強く、あきらめずに、教えてくださったおかげだと思いました。

こまが回るとうれしい！とそれから、園に帰ってもこま回しが楽しくなったのは、うれしい出来事でした。本当に、交流っていいな！いろんな大人や子どもたちとふれあいは、子どもや大人の可能性を広げることにつながるんだと思いました。

(風の子保育園)



山口牧場の裏山で
米ぞりすべり！

○交流を通して育む力○

コロナ感染も落ち着き、交流リズムを2園で2回(12月、1月)3園で1回(3月)行いました。

2園(かもめ・風の子)の交流の時、風の子のAがリズムに参加したり、参加しなかったりまばらでした。2人組のリズムの曲がなるとかもめのYが真っ先にAに駆け寄り、促すとなんの抵抗もなく手をつなぎリズムをしました。かもめのYの気の配り方に感動しました。



リズム「うさぎ」

その後、風の子が初めてやるリズムをし、かもめの子のする姿を見てから風の子の番になりましたが、Aは参加をしませんでした。駆け寄っていったかもめのKは「新しくて難しいことでもやればできるんだよ」と実感のこもった熱い言葉をかけていました。

Kは年長の課題の一つ一つを自分のものにするのに人の何倍もかかり、獲得しました。自分の体験を通しての言葉だったのでAに伝わったのでしょうか。すぐには出なかったのですが、その後の2人組のリズムではかもめの子が次々にAを誘いに行き、一緒にリズムをしました。

リズムの後、みんなでコマを回してみましたが、風の子の子どもたちは誰も回らなかったの、かもめの大人も子どもも一緒になって紐の巻き方や投げ方を教えました。少し経つと何人か回るようになり、あちこちで「回った!!」「こっちも回った!」と嬉しい声が聞こえてきました。かもめの子もたちも自分たちが教えて回ったことで、一緒に喜び合い満足出来たのではないかと思います。

また3月の3園の交流の時は、人数も多くなり知らない人が増える中、自分たちも緊張しながらも「Aは出るのかな」「大丈夫かな」と皆が口にするほど気にかけていました。Aがほとんどのリズムに参加しているところを見て、「あ!A出てるわ」「出た出た、よかった」と安心し、喜んでいました。かもめだけで生活していたらこんなやさしさを見落としていたかもしれない、交流で子どもの中にひそむ姿を見ることができてよかったです。

大人数なのでいくつもグループを作り、その上、誰も知らないリズムも入れました。そうするとかもめの子は説明を聞いてパッと出来なかったりすることもありました。交流の機会が少なく、少人数のリズムではなかなか見られなかった子どもたちの姿を知る良い機会になりました。



リズム「狩人の合唱」

(かもめ保育園)